

# 通信

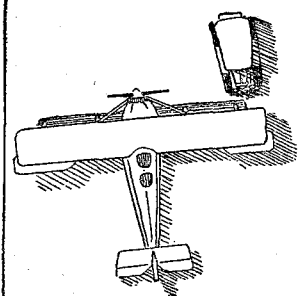
## 米國管見(完)

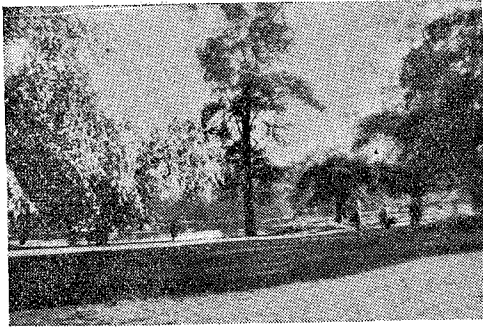
藤田周造  
田邊良忠

紐育滞在も大分長くなつてそろく、故郷戀しいと思ひ出したらたまらなく歸りが急がれたのと同様にあまりにも長い道中は待屈の基とこゝらでさつと切上げる事にする。

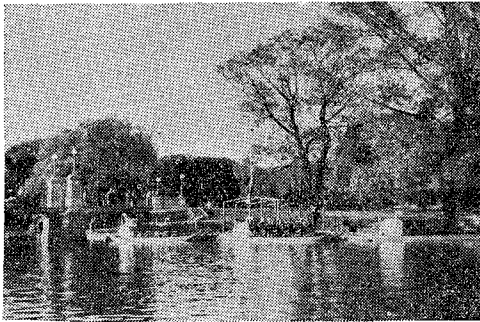
亞米利加の野球シーズンは四月中頃から始まる、コイツは見逃されないとあつて土曜日の午後をヤンキー、スタヂ

ウムに出かける、此前の雨の入れかけの埋合せにヤンキー對ボストンの二回戦をたてつゞけに見せてくれる。甲子園や神宮のスタンドを二階建にしたようで十萬人を收容するといふそのスタンドも定刻前から早くも満員に近いが何と云つてもヤンキーは名にし負ふ強剛ぞろいボストンの善戦

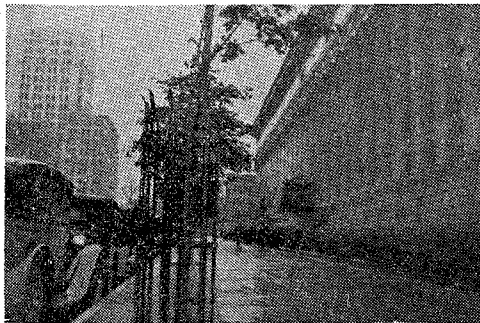




第六十三圖 ホストン公園



第六十四圖 ホストン公園の遊船



第六十五圖 オルパニー教育博物館

も及ばず次のようなスコアで二回戦共ヤンキーのものとなつたのは是非もない。

(一回戦)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
ヤンキー	0	0	0	0	0	1	0	4	0	5	8	0
ホストン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

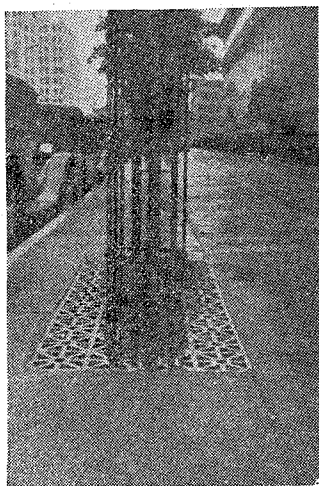
備考 Rハ得點 Hハ好打 Bハ失敗  
 兩軍を通じて第一の人気者はベープ・ルースで百呎三時

(二回戦)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
ヤンキー	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5	8	1
ホストン	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2

二百八十封度の大男がボックスに立たうものなら十萬のファンは期せずして嵐のような歡呼をあびせる、とてもすばらしい人氣だ、此の日ルースの打率はどうであつたか三回斗りの三壘打を痛快にカットバシだがホームランヒットと

第六十六圖

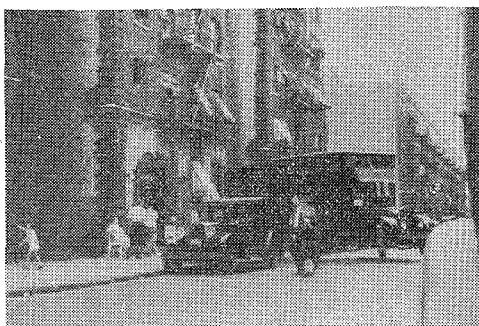


夫工の一保護樹路街

ならなかつたのは少し淋しかつた、けれども好打はヤンキースに多くてホームランヒットだけでもゲーリグ、ミューゼル、ラリーなどの強豪がどし／＼やつてのけたのは痛快であつた。自分は野球が好きだといふ外何者でもないが自

分等の眼から見た職業選手の野球にも攻撃精神の旺盛なこと。寸分の時間を惜むこと。何事にも全力を盡すことの三點については大に感興を起さずには居れなかつた。例令ば

第六十七圖



十噸貨車 紐育街頭所見  
(前面の乗用車との比較を見よ)

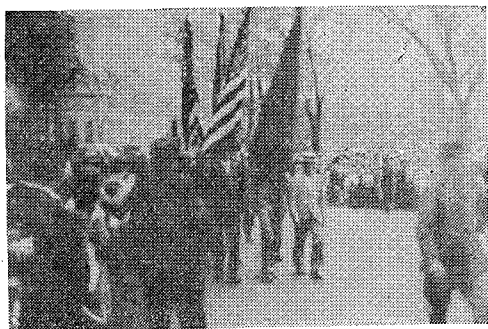
毎回の表と裏との交代にもノコ／＼歩いて出る選手などは全く無いし、ネクスト・バッターは必ず控へて居るし、如何なるファウル・ヒットでも走者は、必ず一壘まで全力を挙げ

て走るし、守備の虚を突かれてドウする事も出来ない飛球  
や観覧席に落ちる球にきまつてるものでも最後の瞬間まで

ヤシスをも逸すまいとする努力とに満ち充ちて居るのであ  
らふ、常に職業選手の技巧とのみ軽く考へこなすものでは

第七十圖

第六十八圖 紐育の大戦記念行進



第六十九圖 記念行進を見んとする群集



石塊鋪裝の補修ファイラデルフォイヤ所見



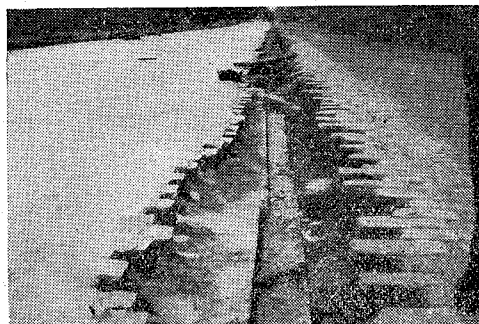
死力を盡して走る處などは観て居ても實に痛快である、彼  
等は次の瞬間を出来るだけ有利に導く考と、百萬分一のチ

あるまい。

五月卅日は米國のメモリアル・デー即ち世界大戦記念日

とあつて國を擧げて祝祭を行ふ、官衙公署も銀行も會社も商店も一齊に休業して到る處の都市では紀念祭典が擧げられパレード(行列行進)が行はれる、それには軍隊、在郷軍

第七十一圖

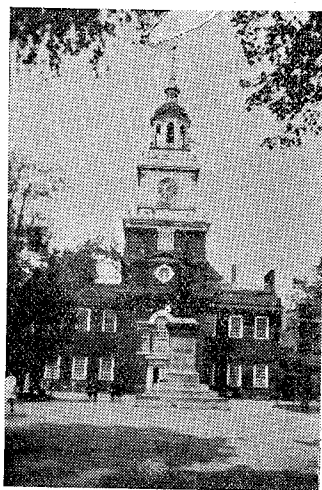


石塊鋪裝の補修  
(左半は完成)

人、巡查、廢兵、青少年團、婦人團、看護婦團、學生、兒童、其他の各種團體が思い／＼に装をこらし大小のバンドを先頭に我こそ國家の干城と言はん計り得意滿面で群集の

歡呼をあびつゝ街々を練つて歩く、老将や廢兵は自働車に乗つて列に従い是等を迎えた群集は擧手の禮と歡呼とを以て敬意を送る、涙ぐましくも美しい情景である。世界平和の使徒、自由の代表者たる亞米利加は世界大戰に致へられ

第七十二圖



獨立記念館  
(自由の鐘を藏す)フィラデルフィヤ

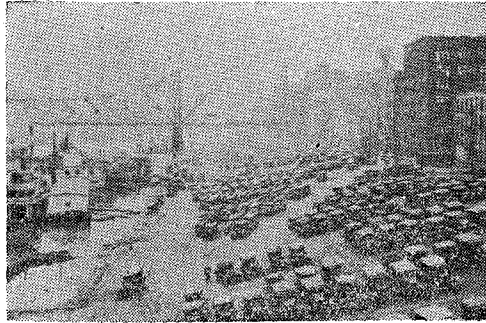
で第二世米國民を如何に軍國的に仕立つべきかの一大問題に逢着して國を擧げて大騒ぎをやつてるなど感付いた男はありや無しや？ 移民條約の改正の爲に日○戰はんとの噂におびえて三千の逃亡兵を出したそんなその○國が第二世

の教育に如何に心を注いで居るだらふか恐○患者で無くとも、拜○主義者であらふとも、一考を要する問題では無いだらふか？ 彼のハドソン河畔にそゝり立つグラント將軍

を何と見るか……私は平和の使徒の背面を見ただけである。

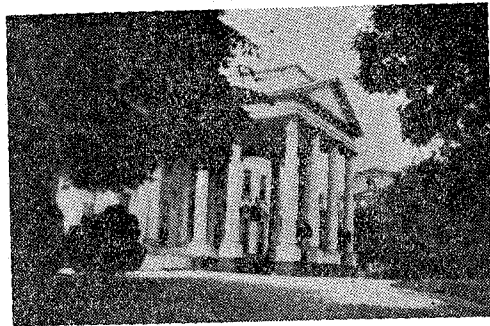
オルバニーからボストンへかけて十日許りの旅行をした

第七十三圖



ピッツブルグ河畔のパーキングカー

第七十四圖



ホルバートハウス

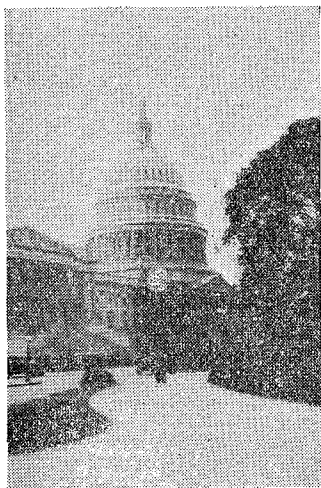
序に州廳所在地オルバニーの教育博物館を一覽したが各階を通じて蒐集されたものは悉く市民の教育資料と言ふよりは立派な世界的教育資料であつて三階の圖書室には整肅な讀者が充満して居り二

の墓の如何に壯麗なるかを見よ。國境の公園に据付けられた砲身は隣國の方を向いては居なかつたか？ 到る處のパイクやガーデンや商館や學校に何でも無い日に星旗の翻る

階一階の陳列室には氷河時代の遺跡に關する鑛石、古代生物の剝製、化石類等が極めて豊富に秩序よく羅列せられて専門ちがいの吾等にとつても可なりに強い興味を感ぜずに

は居られなかつた、博物館の建物そのものゝ規模とても中々に宏壯雄大で我が一千万金に値するものゝようである、是れが人口三十萬を有する言はゞ小都市の施設である、大東京、大大阪は暫く措き我國の其他の都市のどこでは

第七十五圖



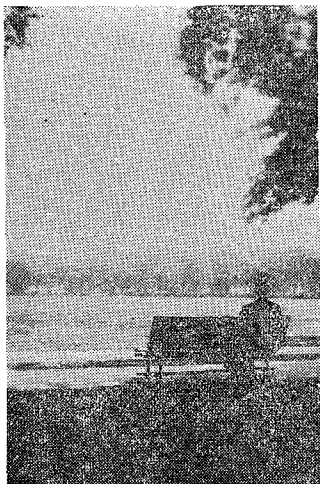
國會議事堂

どの設備が見られようか浦山敷い限りである。

ボストンはマサチューセッツ州廳のある處、亞米利加では一番古い歴史を持つ町としてボストン人はボストン程結構な處は亞米利加中は勿論世界に比類無しと信じてる位だがた

しかに感じのいゝ町である、こゝは教育中樞の都市で大學や専門學校や博物館やは従て有名なものが多いが紐育のような目まぐるしいスカイ・スクレーパーが無いだけでも感じがいゝ、こゝの町にはワーレン兄弟商會の各種工場も

第七十六圖



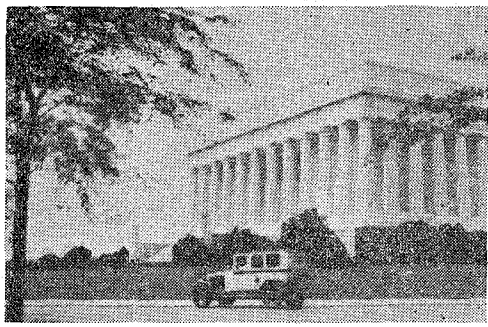
ポトマック河畔の櫻

あり研究室もあるので態々一日を割愛して見學して見る。

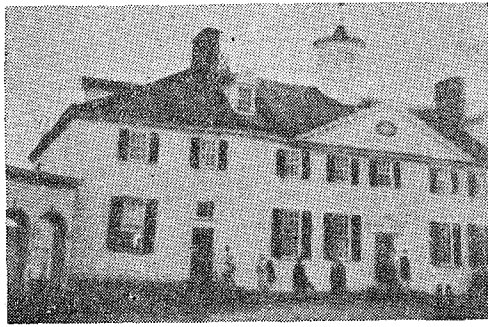
ワーレナイト・ピチエーリシツクの本場の研究室だけに三階の煉瓦石造の建物もいかめしく設備も中々行届いては居るが吾等の阪神國道建設時代に西宮工營所が備へたアスフ

アルト及其の混合材料の物理的及化學的試驗にあてた穢い  
 一棟のバラックに收められた試験設備と大同少異であつて  
 言い條一請負人の施設である事を見逃してはなるまい。  
 ワシントン市は申す迄も無く米國の首府、人口は三十萬

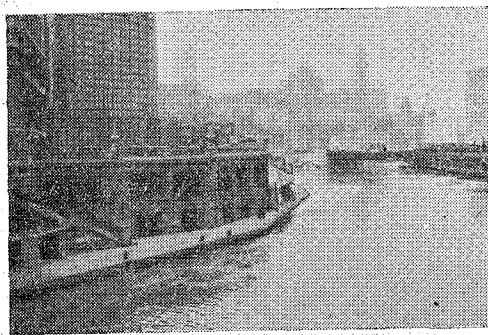
第七十七圖 リンカーン記念堂



第七十八圖 ジョージワシントンの舊宅  
 (マウンツ・ベルソン)



第七十九圖 三重街路(シカゴ市河畔の  
 ドライアウエー)



吾等の阪神國道の鋪裝は斷じて米國の最新の研究に劣つて  
 は居ないと感じたのはいゝ氣持であつた、但し専門家とは  
 計りなるも國會議事堂、ホワイト・ハウス、ワシントンモニ  
 ユメント、リンカーン・メモリアル等米人御自慢の著名な建

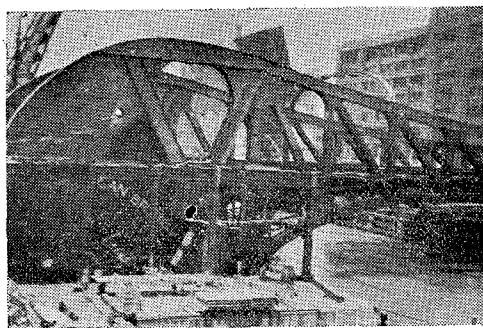


建築物もあり國際都市として日本大使館を始めとし各國の大  
公使館などもあり都市として小奇麗に又極めて樹木が豊富

もは恐らく皆このプリンティング・オフィスを訪ふて各  
種部門のプリントやパンフレットを集めて歸るにちがひ無

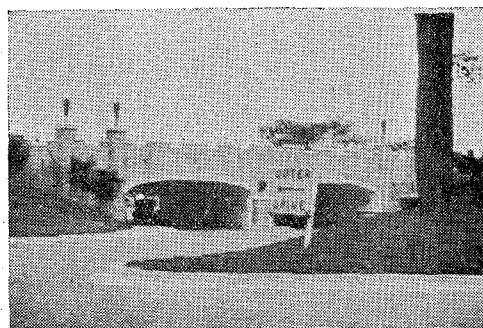
第八十圖

建造中のバスキユール  
ブリツチ(シカゴ所見)



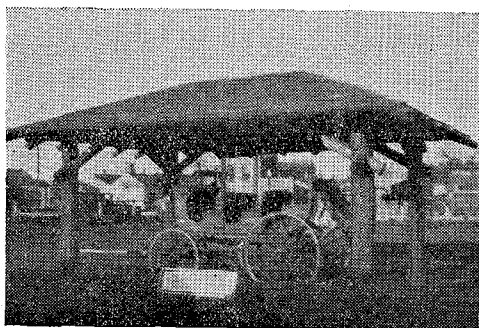
第八十一圖

上下交又路シカゴ市  
リンカーンパーク



第八十二圖

米大陸横斷に用ゐし馬車  
E. W. R. R. Laramie Station



で公園、街園も豊で美しくおそらく亞米利加中で一番日本  
人好きのする都會と云へると思ふ。亞米利加を訪ふた誰し

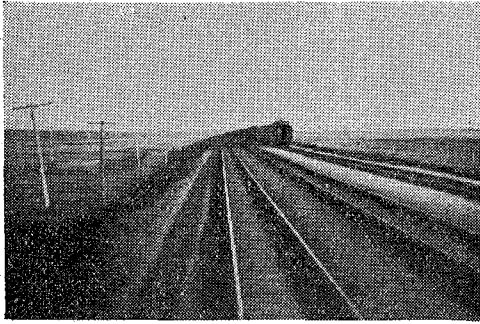
い吾等もその御多分にもれず大分買いこんで來たが割合に  
一向讀まないのは今更申譯も無い事だ。是から精々勉強し

て一年奮くなつた新智識を御披露する事にしようと考えて居る。

關する研究では確に第一人者であると承つて居ただけに自分の米國出張の目的も此の一日の會見で大方は盡されたの

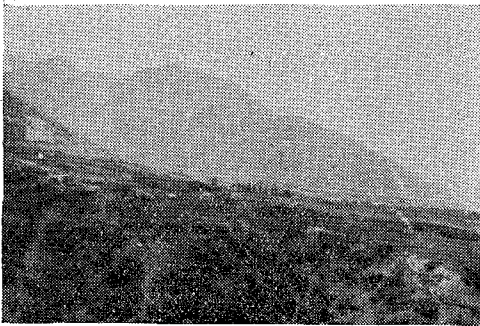
第八十三圖 米大陸横斷鐵道

(數十哩に亘る直線)

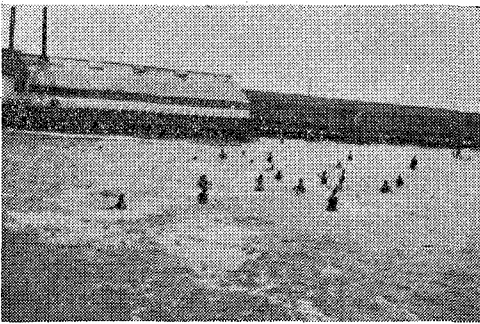


第八十四圖 雪のロツキ連山

(沿線八千呎附近より望む)



第八十五圖 ソルトレーキ水泳場



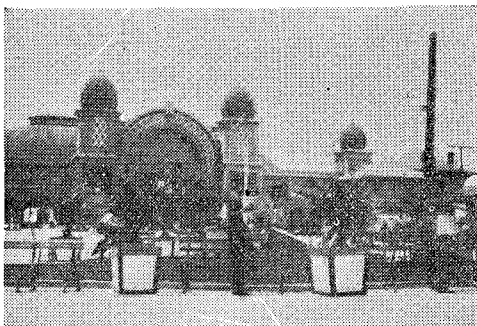
牧野兄の紹介を頂いて道路研究所にコンナー氏を訪ふた事も忘れ難い思出である。同氏は道路舗装殊に簡易舗装に

ではなかつたかと思ふ位である勿論相當の質問も試みたが相當の資料ももらつて歸つた是も追々御披露する事にしよ

う。

マウント・ベルノンにあるジョージ・ワシントンの墓と舊邸こそは米國ことにワシントン市を訪ふたものゝ訪はざる

第八十六圖

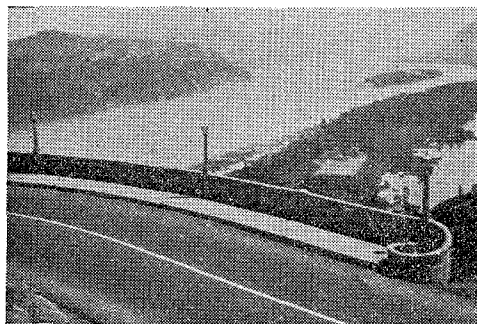


ソルトレーキの演舞場

第八十七圖

を得ぬものであらう。自分は幸に遊覽自動車の客となつて思がけ無く豊中中學の校長林氏と途づれになつて午後半日を三十哩のドライブと共にマウントベルノンに過した事

であつた。こゝまでは電車も敷かれ引きり無しに見物人がやつて来る、恐れ多いが我等が桃山の陵を慕い奉るようなそんな心持が米人の先祖たるジョージ・ワシントンに捧げ



コロムビア・リバー サイド・ドライブウエー

ゝで居室、食堂、臺所等々什器に至るまで昔さながらの有様であるがワシントン臨終の室とその床とを見て今にもワシントンが出て來はせぬかとなつかしい心持になる、庭園

られてるかとも思はれてゆかしい心持がした、大した邸では無いが一の丘陵を獨占して水と丘との配置おもしろく如何にも大英雄の永眠の地にふさはしい静けさと美さである、家屋敷が昔そのま

の一隅にさゝやかな夫妻の墓を見舞つて歸途に就く。

五月卅一日に歐洲へ渡る藤田君を見送つてからは田邊は一人ほつち―右も左も知らない野郎ばかりの間を、ともかくもピッツバーグ、シカゴ、ソルトレーキシチー、ボート

第 八 十 八 圖



コロンビヤ・リバー・サイドドライブウエー  
小景 マルトノマー 瀧 八四〇(呎)

ランドと經めぐつてシャトルに辿り着き三島丸に乗込んだのは大出来でせう。

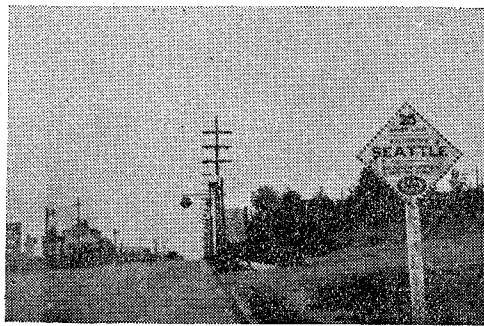
ピッツバーグのカーネギーの工場見學やシカゴの都市計畫や汚水處理や専門的に興味ある報告は次の機會にゆづる

通 信

事としてソルトレーキで泳いだ經驗を話さして下さい、ソルトレーキ市はユター州廳のある處、人口十二萬許りの小都市乍ら風光明眉、山紫水明で一寸京都を思出させる處が

あり新築の州廳舍も何千萬弗で御自慢の一つではあるが吾等の感興はソルトレーキにそゝがれざるを得ぬ、ソルトレーキは町から十二、三哩北方に位して長八十哩幅三十哩と

第 八 十 九 圖



郊外より見たるシチーリミット  
制限速度二五哩の制札を見よ(シャトル市)

あり新築の州廳舍も何千萬弗で御自慢の一つではあるが吾等の感興はソルトレーキにそゝがれざるを得ぬ、ソルトレーキは町から十二、三哩北方に位して長八十哩幅三十哩と

いふから大したもので無いが世界最大最鹹の鹽湖だといふ、そして三十哩にも亘る幅の廣い湖の最深所が三十呎位だといふからよほど平たい水溜りである、たしかにはけ口のない水溜りであり數千萬年流れて出る途の無い水溜りが

第九十圖

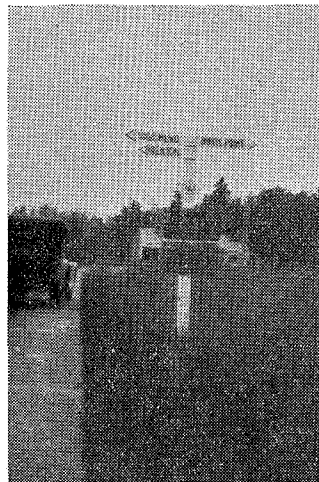


市界より見たる郊外道制限速度四〇哩の制札を見よ(シヤトル市)

鹽分二十四パーセントの鹽湖となつた譯だ、見物の自動車がドン／＼来るし浴場につきもの、遊戯設備や子供の喜びそうなものがいろ／＼あつて誰も彼も水泳着を借りてキャツ／＼と喜んで遊んで居るのにつられて自分も一寸入つて

見る、何分鹽分が多く比重が重いから體がとびあがるように浮いて足がうきすぎて泳げ無い位此の水にもぐる事は鹽分の刺激と浮力との爲に到底困難だといふ、尤も公開してある水泳場は水深僅に四五呎程度で大人の遊戯場と申す事

第九十一圖



警戒標及方向指示標(シヤトル郊外)

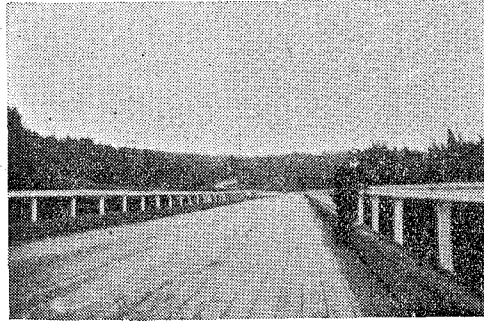
に盡きる、六月十二日の水溫七十度で行水をあびてるよくな心持になる。

シヤトルはワシントン州第一の都市、こゝはアラスカ金礦發見以來最近三十年計りに一大發展を遂げた町で人口四

十萬に達し相當なデパートメント・ストアも二軒もあり、我邦とは郵船北米航路の終港地として密接な關係のある處、日本領事館もあり數萬の同胞の居住する處なり、所謂米材

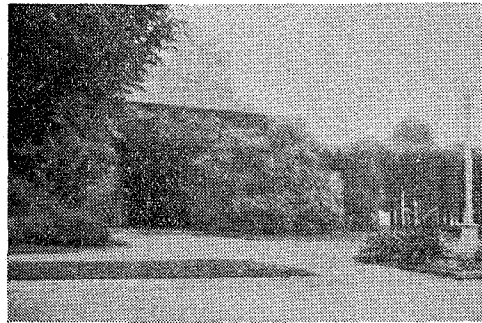
それでも思つたほど寒くも無く氣候は洵に適順で景色は美しく樹林には富み人情も敦厚で居心地のよい處ですと郵船支店長の御話をそのまゝ御取次して置きます。

第九十二圖



豎に張りたるプランキング(シヤトル郊外)

第九十三圖



グッドランドパーク  
シヤトル

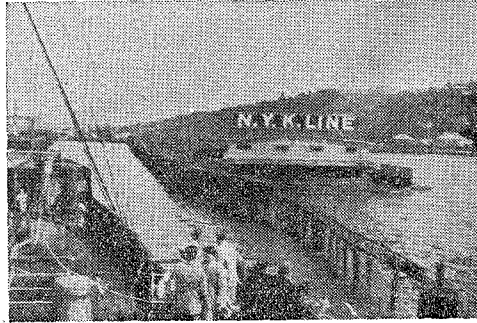
八千噸の三島丸は往航の太平洋丸に比べて半分位で北米航路を突破するには如何にも心細いと思つたのが全然杞憂であつて或はアリュウシアン群島の間を縫い北緯五十度三十分、(樺太の國境より

の原産地米檜、米松、米杉等々見渡す限り手近の森林は已に開拓されて一日半日の遊子には昔の大森林の影さへ追ひ難いように都會化されてしまつて居るのは物足り無い。

もまだ緯度の高い地點)を通つたり、昨日も今日も群れ遊ぶ鯨群を追かけたり千島列島から北海道に沿ふて南下して日毎に我が本州に接近する事を樂しみ乍ら六月三十日に東

京灣へ入るその朝迄も外套を着て居た人があつた位涼しい思をして珍らしい愉快な海の幸に恵まれて歸つた自分ばかりに仕合せ者にちがひ無い。

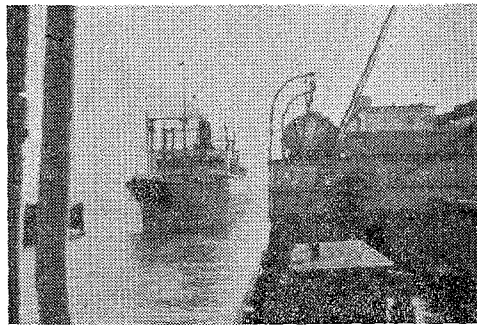
第九十四圖



シヤトルを離るゝ三島丸

第九十五圖

往復三ヶ月の旅は短いようで長い、長いようで短い旅行であつたが啓發せられた處はとても多かつた、自分はこんな旅行の仕方でもつて大切な使命が果せたのだつたかと



英領加奈陀ビクトリア港にてダラー汽船タフト號に出遣ふ

そればかりは甚耻入つてはおるが斷じて無駄では無かつたと、そして、私としてはベストを盡して参りましたと申しあげると共に公私各方面から様々御懇篤な御指導と御援助

とを與へられた先輩知友に對して心からの感謝の念に満ちて、秃筆を措く事とする。(完)